

教科名等

校内科目名	指導要録表記上 科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
国語総合	国語総合	1	1学年A組～F組	5	必修	175 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	野邊 咲子 ・ 北林 峻 ・ 山代 水緒
授業形態	講義・演習 等
教科書	国語総合改訂版 現代文編 ・ 古典編(大修館書店)
使用教材等	「トータルサポート 新国語便覧」(大修館書店) ・ 「現代文 解法のテクニック1(基礎編) 改」(啓隆社) ・ 「意味から学ぶ 頻出漢字3000 漢字+語彙」(第一学習社) ・ 「力をつける古文 ステップ1」(数研出版) ・ 「新版五訂 完全マスター古典文法」(第一学習社) ・ 「読んで見て覚える 重要古文単語315 三訂版」(桐原書店) ・ 「読解シリーズ 力をつける漢文 ステップ1」(数研出版) ・ 「漢文学習必携 三訂版」(京都書房)

科目の目標・内容等

学習目標	国語の基礎的知識の習得および論理的思考力の養成。
学習における留意点	予習・復習・宿題を確実にやり、授業を通して学習内容の定着を図る。
予習・復習	予習として辞書(国語辞典、古語辞典、漢和辞典等)を用いて不明の語句の意味や用法を調べノートに記す。復習として教科書とノートを読み返し、語彙や知識を定着させる。
評価方法	定期考査・平常点(小テスト・提出物・学習態度)・課題テスト・補習 等

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	【現代文】詩『蝸のうへ』 小説『羅生門』 評論『水の東西』 表現『自分の考えを話す』ビブリオバトル 【古文】『古文入門』『徒然草』『竹取物語』 【漢文】『漢文入門』	【現代文】評論:評論の基本的な読み方を習得する。小説等:主体的な鑑賞の仕方を学び、人間に対する洞察力・感受性を養う。 【古文】歴史的仮名遣いや品詞の種類・用言の活用等古文の基本的事項を習得し、説話・随筆・物語の面白さを理解する。 【漢文】漢文訓読、書き下し文など基本的事項を理解する。	・定期考査 ・学習活動への参加姿勢や態度 ・提出物(プリント類・ノート・感想文・問題集など) ・小テスト ・補習への参加状況
2	【現代文】評論『ヘンデルとカッセル』『空気を読む』『自然と人間の間を通って考える』『グローバリズムとグローバル化』 小説『城の崎にて』「本のPOPを作る」「資料をもとに文章を書く」 【古文】『伊勢物語』『和歌』『奥の細道』 【漢文】『十八史略』『唐詩』	【現代文】評論:文章の論理的な構成を理解し、筆者の主張を正確に把握する。小説等:名作に触れ文学の面白さを味わうとともに読解力を深める。 【古文】伊勢物語:頻出助動詞を確実に習得し、物語の全体像を理解する。和歌:和歌の特徴を理解しそれぞれの歌を鑑賞する。奥の細道:俳諧紀行文の特徴を理解する。 【漢文】繰り返し音読することにより漢文・漢詩に親しむと共に内容を正確に理解し鑑賞する。	・定期考査 ・学習活動への参加姿勢や態度 ・提出物(プリント類・ノート・感想文・問題集など) ・小テスト ・補習への参加状況
3	【現代文】評論『メディアとしての顔』『意味と身体』 短歌・俳句「調べたことを報告する」「手紙を書く」 【古文】『平家物語』『土佐日記』 【漢文】『思想』『文』	【現代文】評論:文章の構成、展開を理解し、筆者の主張を正確に捉える。筆者の主張をふまえて自分の考えを論理的に述べる。 【古文】平家:無常観についての理解を深めるとともに自分で口語訳する力を養う。土佐:日記文学の特徴を理解し鑑賞する。 【漢文】内容を正確に読み取るとともに、儒家の思想を理解する。	・定期考査 ・学習活動への参加姿勢や態度 ・提出物(プリント類・ノート・感想文・問題集など) ・小テスト ・補習への参加状況

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。

教科名等

校内科目名	指導要録表記上 科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
現代文B	現代文B	2	A～F	2	必修	70 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	加藤久典
授業形態	講義
教科書	『精選 現代文B 新訂版』(大修館書店)
使用教材等	『現代文 解法のテクニック2 標準編』(啓隆社) 『意味から学ぶ頻出漢字3000漢字・語彙』(第一学習社) 『読解を深める現代文単語<評論・小説>』(桐原書店) 『評論速読トレーニング 1500』(数研出版) 『共通テスト 国語対策問題集 入門』(桐原書店) 『新国語総合ガイド 四訂版』(京都書房)

科目の目標・内容等

学習目標	論理的文章、文学的文章を的確に読み取る力を身につけ、ものの見方や感じ方、考え方を深める。漢字の読み書きの力や語彙力を高め、大学受験に相応した学力を習得する。
学習における留意点	主体的に学ぶ姿勢を持ち、授業に積極的に参加するようにする。漢字、語彙の基本的知識については反復して学習し、着実に身に付けるようにする。
予習・復習	【予習】授業前に本文を一読し、語句等を調べておく。小テストの事前学習。 【復習】授業ノートを確認し、授業で学習した事柄に対して自分なりにより深く考え理解を深める。
評価方法	定期考査、長期休業後の課題テスト、平常点(小テスト・プリント・ノート提出等)を基本とする。

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	評論「ミロのヴィーナス」 小説「山月記」 評論「豊かさをつながら」 詩「永訣の朝」他	【随想・小説】随筆や短編小説の持つ緊密な構成を理解し、筆者や登場人物の人物像や心情の推移を的確に読みつつ随筆・小説鑑賞の方法を学ぶ。 【評論】論の展開や要旨を的確に捉えることで筆者の主張を正確に把握するとともに、評論の読解方法を学ぶ。 【詩】詩を味わい感性を豊かにするとともに、表現技法について学	・定期考査 ・学習活動への参加姿勢や態度 ・提出物(プリント類・ノート・感想文・問題集など) ・小テスト ・補習への参加状況
2	評論「科学の現在を問う」 小説「山椒魚」 評論「『考える葦』であり続ける」 詩「I was born」等	【評論】論の展開や要旨を的確に捉えることで筆者の主張を正確に把握するとともに、評論の読解方法を学ぶ。 【小説】小説の登場人物の微妙な心情の推移を読みつつ主題を考える。 【詩】詩を味わい感性を豊かにするとともに、表現技法について学び鑑賞力を高める。	・定期考査 ・学習活動への参加姿勢や態度 ・提出物(プリント類・ノート・感想文・問題集など) ・小テスト ・補習への参加状況
3	小説「ころ」	【小説】小説の登場人物の微妙な心情の推移を読みつつ主題を考える。	・定期考査 ・学習活動への参加姿勢や態度 ・提出物(プリント類・ノート・感想文・問題集など) ・小テスト ・補習への参加状況

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。

教科名等

校内科目名	指導要録表記上 科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
古典B	古典B	2	A～F	3	必修	105 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	森田 真央・山代 水緒
授業形態	必修 講義
教科書	古典B改訂版 古文編・漢文編(大修館)
使用教材等	新版三訂完全マスター古典文法(第一学習社)、新明説漢文(尚文出版)、 新国語総合ガイド四訂版(京都書房)、Key & Point古文単語330改訂版(いっずな書店)、 漢文用字練習ノート(尚文出版)、力をつける古典2(数研出版)

科目の目標・内容等

学習目標	古典を読む能力を養うとともに、思考力を伸ばし、感性や情緒をはぐくみ、古典を通して人生を豊かにする態度を育成すること。
学習における留意点	予習されていることを前提に授業を進める。 板書・解説は自分なりの工夫でノートに書き留める。
予習・復習	本文を写し、語句を調べ、文法事項を確認して現代語訳をする。小テストの事前学習。
評価方法	定期考査、長期休業後の課題テスト、平常点(小テスト・提出物等)を基本とする。

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	【古文】 大江山(十訓抄) 行く河の流れ(方丈記) 初冠(伊勢物語) 和歌・歌謡・俳諧 【漢文】 『漱石枕流』(世説新語) 『塞翁が馬』(淮南子)	【古文】 用言の活用を確認しつつ、助動詞の意味・活用の定着をはかる。 古語辞典を用い、自分で現代語訳をできるようにする。 【漢文】 漢文訓読、書き下し文などの基本的事項を確認する。 基本的な句法を身につける。	・定期考査、課題テスト ・学習活動への参加姿勢や態度 ・提出物(プリント類・ノート・感想文・問題集など) ・小テスト(古文・漢文)
2	【古文】 中納言参りたまひて(枕草子) 『光源氏誕生』『桐壺』 『小柴垣のもと』『若紫』(源氏物語) 『花山院の出家』(大鏡) 【漢文】 『鴻門の会』 『四面楚歌』(史記)	【古文】 助動詞の意味・活用を確認する。 敬語表現の基本を身につける。 古語辞典を用いてある程度自分で現代語訳をする。 【漢文】 基本的な句法を身につけ、漢文の長文を読解する。	・定期考査、課題テスト ・学習活動への参加姿勢や態度 ・提出物(プリント類・ノート・感想文・問題集など) ・小テスト(古文・漢文)
3	【古文】 『忠度の都落ち』 『先帝身投げ』(平家物語) 『三船の才』(大鏡) 【漢文】 漢詩 思想	【古文】 敬語表現の定着をはかる。 助詞の用法を身につけ、自分ですべて現代語訳をできるようにする。 【漢文】 句法をすべて身につけ、漢文の読解力をあげる。 日本にも浸透している漢詩や諸子百家の思想を学ぶ。	・定期考査、課題テスト ・学習活動への参加姿勢や態度 ・提出物(プリント類・ノート・感想文・問題集など) ・小テスト(古文・漢文)

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。

教科名等

校内科目名	指導要録表記上 科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
古典B	古典B	2	A～F	1	選択	35 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	眞鍋 紀子・野邊 咲子
授業形態	講義
教科書	
使用教材等	「説話に学ぶ用言」「徒然草に学ぶ助動詞」「大鏡 枕草子に学 敬語・識別(助詞)」「(浜島書店) 新版三訂完全マスター古典文法(第一学習社)、 新国語総合ガイド四訂版(京都書房)、Key & Point古文単語330改訂版(いっずな書店)、 力をつける古典2(数研出版)

科目の目標・内容等

学習目標	古典を読むうえで必要な力を養うとともに、思考力を伸ばし、古典を通して人生を豊かにする態度を育成すること。
学習における留意点	予習されていることを前提に授業を進める。 板書・解説は自分なりの工夫でノートに書き留める。
予習・復習	テキストの音読、語句調べ、文法事項を確認して設問に解答する。
評価方法	定期考査は実施せず、定着度を測る確認テストと平常点(提出物等)を基本とする。

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	用言の総復習 動詞の活用、形容詞・形容動詞の活用	動詞の活用を総復習し、係り結びや助動詞の接続など、既習の内容にも適宜触れながら、定着を図る。	・学習活動への参加姿勢や態度 ・確認テスト
2	助動詞総復習	助動詞を体系的に覚える。 接続、意味、活用形などを正確に覚え、助動詞の意味に忠実に訳せるようにする。	・学習活動への参加姿勢や態度 ・確認テスト
3	敬語 助詞 紛らわしい語の識別	敬語の種類を確実に覚え、敬意の方向も理解したうえで正確に訳せるようにする。 格助詞や接続助詞、係助詞等を中心に学習する。 「なむ」「なり」「る」「に」などの識別ができるようにする。	・学習活動への参加姿勢や態度 ・確認テスト

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。

教科名等

校内科目名	指導要録表記上 科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
現代文B	現代文B	3	A～F	2	必修	70 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	眞鍋紀子・森田真央
授業形態	講義
教科書	精選現代文B(明治書院)
使用教材等	新総合国語ガイド(京都書房) 読解を深める現代文単語(桐原書店) 力をつける現代文3(数研出版)

科目の目標・内容等

学習目標	高度な語彙力と読解力を育み、受験に対応できる学力を着実につけていく。
学習における留意点	主体的に学ぶ姿勢を持ち、授業に積極的に参加するようにする。漢字、語彙の基本的知識については反復して学習し、着実に身に付けるようにする。
予習・復習	【予習】授業前に本文を一読しておく。語句調べ。小テストの事前学習。 【復習】授業ノートの確認、授業で学習したことに対する自分なりの考えを持つ。
評価方法	定期考査、平常点(小テスト・提出物・学習態度)等

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	評論(1)「グローバリゼーションの光と影」「異文化理解」 小説(1)「檸檬」 評論(2)「猫は後悔するか」「『である』ことと『する』こと」	評論では、具体例と筆者の見解・主張との関連に注意して論旨を的確に読み取り、文化について深く考察する。 小説では、作品の構成を明らかにしながら、作品の展開のしかたを把握する。叙述や比喩表現に注意を払い、登場人物の状況や心理を的確に把握する。	・定期考査 ・小テスト ・提出物(プリント・ノート・問題集など) ・学習活動への参加姿勢や態度
2	小説(2)「舞姫」 評論(3)「釣りのハイパー・セミオティクス」「文学史はなにを辿るのか」「群衆の顔」 評論(4)「『名付け』の精神史」「く読み」の楽しみ」	小説では、明治期の名作の世界を味わう。主要人物の行動や心の動きを通して青年期の生き方を考え、日本の近代についての認識を深める。 評論では、人間や社会の本質を深く掘り下げて考える態度を養い、論理性を高める。具体例と筆者の見解・主張との関連に注意して論旨を的確に読み取る。対比的思考に慣れるとともに、現象の奥にひそむ本質を見極めていく視点を養う。	・定期考査 ・小テスト ・提出物(プリント・ノート・問題集など) ・学習活動への参加姿勢や態度
3	評論(5)「私の個人主義」	論理を的確にたどり、深い思索が幅広い知識に支えられていることを理解する。視野を広げてさまざまな問題について深く考え、自分自身の考えを持つとする態度を身に付ける。	・小テスト ・提出物(プリント・ノート・問題集など) ・学習活動への参加姿勢や態度

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。

教科名等

校内科目名	指導要録表記上 科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
現代文演習	国語総合	3	A・B・C・D・E・F(自由選択)	2	選択	70 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	北林 峻
授業形態	講義・演習等
教科書	精選国語総合 現代文編 (明治書院)
使用教材等	『2020進研[センター試験]対策国語 重要問題演習 現代文』(進研学参) 『私大対策 評論20 advanced』(いいずな書店) 『現代文単語 げんたん』(いいずな書店RT) 『完成 日本文学史ノート<二訂版>』(京都書房)

科目の目標・内容等

学習目標	問題演習を通して現代文の読解力を伸ばし、大学受験に対応できる力をつける。
学習における留意点	主体的に学ぶ姿勢を持ち、授業に積極的に参加するようにすること。
予習・復習	授業内で指示された内容に関して、必ず予習・復習に努めること。
評価方法	定期考査、平常点(小テスト・提出物・学習態度)等。

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	評論、小説の問題演習を行う。センター試験型の問題と私大入試の問題の両方を扱う。	問題演習を繰り返すことにより、センター試験型の問題に慣れる。また、私大の、特に記述問題にも対応できる力をつける。	・定期考査 ・小テスト ・提出物 ・学習活動への参加姿勢や態度
2	評論、小説の問題演習を行う。センター試験型の問題と私大入試の問題の両方を扱う。	問題演習を繰り返すことにより、センター試験型の問題に慣れる。また、私大の、特に記述問題にも対応できる力をつける。	・定期考査 ・小テスト ・提出物 ・学習活動への参加姿勢や態度
3	評論、小説の問題演習を行う。センター試験型の問題と私大入試の問題の両方を扱う。	問題演習を繰り返すことにより、センター試験型の問題に慣れる。また、私大の、特に記述問題にも対応できる力をつける。	1・2学期の評価に準ずる。

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。

教科名等

校内科目名	指導要録表記上 科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
古文演習	古典B	3	A～F(自由選択)	2	選択	70 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	眞鍋 紀子 加藤 久典
授業形態	講義ほか
教科書	高等学校 古典B(明治書院)
使用教材等	「センター試験 国語 対策問題集 古典編」(桐原書店)／「大学入試 スタディーク 古典」(第一学習社)／「完全マスター古典文法」(第一学習社)／「古文単語 330」(いづな書店)／「完成 日本文学史ノート」(京都書房)／「完全マスター古典文法 準拠ノート」(第一学習社)／新国語総合ガイド四訂版(京都書房)

科目の目標・内容等

学習目標	1・2年で学習した古文の基礎的知識を確認し、問題演習を通して応用力を身に付け、大学受験に対応できる力を養成する。
学習における留意点	主体的に学ぶ姿勢を持ち、授業に積極的に参加するようにする。
予習・復習	授業内で指示された内容に関して、必ず予習・復習に努めること。
評価方法	定期考査・平常点(小テスト・提出物・学習態度)等

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	古文についての問題演習を行う。 随筆・日記など	演習問題に取り組み、古典文法・語彙・古典常識などの基礎的事項の確認と定着を図る。古典の文学史について学び、文学史的知識を定着させる。	・定期考査 ・小テスト ・提出物 ・学習活動への参加姿勢や態度
2	古文についての問題演習を行う。 物語・評論など	演習問題に取り組み、古典文法・語彙・古典常識などの基礎的事項を確認するとともに、応用力を身につける。古典の文学史について学び、文学史的知識を定着させる。	・定期考査 ・小テスト ・提出物 ・学習活動への参加姿勢や態度
3	古文についての問題演習を行う。 近世小説・和歌など	演習問題に取り組み、古文読解のために必要な応用力を伸ばし、実践的な力をつける。古典の文学史について学び、文学史的知識を定着させる。	・定期考査 ・小テスト ・提出物 ・学習活動への参加姿勢や態度

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。

教科名等

校内科目名	指導要録表記上 科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
教養国語	国語総合	3	火5・6クラス	2	選択	70 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	森田真央
授業形態	講義・演習 等
教科書	精選国語総合(明治書院)
使用教材等	プライム常用国語(第一学習社)

科目の目標・内容等

学習目標	就職・公務員・短大及び専門学校進学に対応できる国語の学力を養う。
学習における 留意点	授業に真剣に取り組み、学習したことを確実に復習する。
予習・復習	授業内で指示された内容に関して、必ず予習復習に努める。
評価方法	定期考査、演習・発表、平常点(小テスト・作文等)等

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	国語常識 漢字・慣用表現・ ことわざ・故事成語・ 文学史 など 作文 正確な文章表現 作文のルール 文章構成の方法	・漢字力、慣用表現やことわざなどの語彙力、文学史の知識を養う。 ・原稿用紙の使い方や作文の書き方の基礎を身につける。	・定期テスト ・小テスト ・提出物 ・学習活動への参加姿勢や態度
2	国語常識 漢字・三字熟語・ 四字熟語・難読語・ 名言・時事用語・ 文学史 など 作文の書き方 面接の受け方 手紙の書き方 電話の応対 敬語の使い方	・漢字力、慣用表現やことわざなどの語彙力、文学史の知識を養う。 ・課題作文を実際にかくことを通して、表現の方法、文章構成力、課題に的確に答える力など、作文試験に対応するための実践力を養う。 ・面接の受け方について学び、面接試験に対応できる力を身につける。 ・手紙の書き方、電話の応対、敬語の使い方など、社会に出た後の常識として必要な事柄を身につける。	・定期テスト ・小テスト ・提出物 ・学習活動への参加姿勢や態度
3			

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。